

入院診療計画書② 右大腿骨頸部骨折の骨接合術を受けられる方へ 1枚目 (全2枚)

ID:

新規作成日: 2022年6月13日

氏名:

日付						
経過	1日前	術前	術後	1日後	2日後	
目標	手術について理解できる	ボディイメージの変調を受け入れることができる 手術経過に問題がない	疼痛のコントロールができていない 手術経過に問題がない 創部に問題がない	疼痛のコントロールができていない ADLの範囲の拡大ができる 創部に問題がない	疼痛のコントロールができていない ADLの範囲の拡大ができる 創部に問題がない	
注射		点滴	点滴	点滴		
投薬	持参のお薬を確認します。 お薬手帳、お薬をお持ちください。 薬剤師が薬の指導にうかがいます。	指定されたお薬だけ内服します。	内服はできません。	鎮痛剤を内服します (7日間)。 →		
検査			手術後に採血	採血		
放射線			股関節のX線撮影			
処置	右手術部位に印をつけます。		酸素吸入		創 (きず) を消毒します。	
	血栓予防ため弾性ストッキングを装着 →					
	血栓予防の機器を装着 →					
	身長測定		心電図装着 →			
	体重測定 (毎週木曜日)					
食事	夜から飲食禁止	飲食禁止	手術後は覚醒の程度、お腹の動き、嚥下機能を確認して問題なければ飲水が始められます。開始時間は看護師に確認してください。	飲食再開		
清潔	シャワー浴	点滴前に手術着に着替えます。 8時半のかたは8時頃着替えを済ませます。	うがいです。	身体拭き		
排泄	便秘の場合、浣腸をします。	手術前に排尿を済ませてください	・排泄はベッド上です。 ・尿の管が入ってくる事があります。		尿の管が入っていた場合は抜きます。	
活動	安静度 ・ベッドで安静 ・痛みが我慢できる範囲で上半身を起こせます。		ベッドで安静	・痛みに合わせて車椅子乗車・歩行できます。 ・動作が安定するまで看護師が付き添います。		
	リハビリ リハビリテーション開始					
看護ケア	検温 (入院時、午後、寝る前) 足の痛み、動き、痺れがないか観察します。	検温 (起床時、手術に行く前)	検温 (適宜行います) 夜間も起こすことがあります。	検温 (起床時、午前、午後、寝る前)		
確認事項	手術に必要な書類と物品を確認します。					
指導	・入院・手術のオリエンテーション ・入院中のスケジュールの確認します。 ・ネームバンドを装着します。 ・手術後はスリッパではなく履きやすい靴・靴べらを使います。必ず持参してください。 ・貴重品は金庫を御利用ください。 ・病院内は禁煙です。 ※65歳以上の方は介護保険申請を検討してください。	・術後外転枕装着について説明します。 ・眼鏡、コンタクトレンズ、義歯、アクセサリなどがある場合は外してください。 ・ご家族は手術の30分前に病棟にお越しください。 ・手術中は病棟内でお待ちください。		・退院調整を行っていきます。介護保険を申請してください。 ・在宅、リハビリ病院、療養型病院への転院かをご家族で相談してください。		
その他	・地域連携バス対象の方は、医師・看護師から説明があります。 ・手術日は医療ソーシャルワーカーと面談があります。家族の方は面談時間をご確認ください。	・手術中に、医療ソーシャルワーカーから家族へ説明があります。 ・手術出棟後は家族の方は病棟でお待ちください。				

400527 ・紙面の制約上、一部を簡素な表現にしています。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
 ・この計画は標準的なものです。患者さまの状況によって変更することがあります。
 ・(地域連携バス対象) 大腿部頸部骨折地域連携バスで術後の転院調整を行わせていただくことがあります。

入院診療計画書② 右大腿骨頸部骨折の骨接合術を受けられる方へ 2枚目（全2枚）

ID:

新規作成日：2022年6月13日

氏名:

日付		～		～			～		～	
経過	3日後	4日後～6日後	7日後	8日後～9日後	10日後	11日後	12日後～13日後	14日後	15日後～19日後	20日後
目標	疼痛のコントロールができています ADLの範囲の拡大がで 創部に問題がない									二次性骨折予防について理解できる
注射										日常生活の注意点について理解できる
投薬	鎮痛剤を内服します。	●			骨粗鬆治療薬を検討します。					
検査			採血					採血		
放射線			股関節のX線撮影 ・骨密度の検査					股関節のX線撮影		
処置					創の保護材をとります。					
	体重測定（毎週木曜日）									
食事										
清潔	シャワー浴 看護師が付き添い、シャワー指導を行います。									
排泄	1日の便、尿の回数を確認します。									
活動	安静度	・痛みに合わせて車椅子乗車・歩行できます。 ・動作が安定するまで看護師が付き添います。								
	リハビリ									
看護ケア	検温（起床時、午前、午後、寝る前）	検温（午前、寝る前） 足の痛み、動き、痺れがないか観察します。								
確認事項										
指導	・退院調整を行っていきます。介護保険を申請してください。 在宅、リハビリ病院、療養型病院への転院かをご家族で相談してください。 創の保護材がとれて医師の許可があれば術後11日から退院可能となります。							術後15日 ●退院目標日です。術後15日～21日目で退院となります。医師と退院日をご相談ください。 ●退院目標日を過ぎてもしリハビリが必要な方はリハビリ病院や回復期病棟に転院していただく事があります。 ●退院に不安がある方はご相談ください。 ●必要な場合はパンフレットを用いて二次性骨折予防の説明をします。		術後20日 退院最終目標日となります。
その他						・自宅では座布団等を脚の間に挟んでください。 ・退院前にネームバンドをはずします。 ・次回外来予定などのスケジュール票をお渡します。 ・看護師から退院・退院後の生活・次回外来についての説明があります。 ・退院は9時半頃です。				